

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市障害者就労支援センター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市障害者福祉協会
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 令和元年度：769人（前年度比 102.1%） 平成30年度：753人（前年度比 108.7%） 平成29年度：693人（前年度比 112.5%）
		《相談対応延べ件数》 令和元年度：16,536件（前年度比 71.6%） 平成30年度：23,086件（前年度比 125.6%） 平成29年度：18,381件（前年度比 126.0%）
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 59,802千円 (57,000千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 窓口アンケート（平成31年4月1日～令和2年3月31日実施。回答数47件）を実施し、職員の挨拶、言葉づかい、説明、身だしなみ、施設内の清潔さ、施設利用の印象の6項目について5段階評価で集計した。全項目282件中、「大変満足」と「満足」を合わせて231件（81.9%）という評価を得た。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設運営上の基本方針や事業概要等は所内で公開されており、周知が図られている。 また、施設目的を達成するため、関係機関との連携を図り、相談支援、職場定着支援、企業開拓、情報提供等が適切に実施されている。 なお、相談支援の際には、相談者からの依頼に応じて手話通訳者の配置や筆談に対応できる体制を整備しているほか、情報提供にあたっては、広報誌にSPコードを付しているなど、各種取り組みを進めるにあたり、情報保障の観点も適切に取り入れている。	30/30
II 施設の運営管理体制	女性職員等が活躍しやすい柔軟な働き方を実現させるため短時間勤務を導入したり、職員間で他の職員の業務状況を把握しやすいように工夫するなど、職員が働き続けやすい職場環境づくりを積極的に進めている。 また、開館実績、指定管理料の執行状況、災害発生時の対応体制等についても適切に管理運営されている。そのほか、個人情報の保護に関する取り組みについて、職員会議だけでなく法人内の研修を実施し、守秘義務等必要な事項の周知徹底に取り組んでいる。	24/24
III 施設・設備の維持管理	掲示物の管理も含めて室内は整理されており、利用者が快適に利用できるよう、環境づくりについて職員会議で共有されるなど、積極的に取り組まれている。 また、建物・設備、備品についても適切に維持管理されているほか、仙台市環境行動計画に基づいて、省エネやグリーン購入など、環境に配慮した取り組みも適切になされている。	16/16

IV	サービスの質の向上	<p>職員全員が各自の研修計画を作成しており、サービスの質の向上につながるよう各種研修会に積極的に参加する体制を整えている。利用者への説明の際には、情報保障にも配慮のうえ、パンフレットや説明資料を活用しながら、分かりやすく丁寧な説明を心がけている。</p> <p>また、機関紙やホームページ、メーリングリストを活用して、関係機関、利用者等への情報提供を積極的に行っており、利用促進を図っている。</p> <p>その他、苦情解決の仕組みを適切に整備しているほか、窓口アンケートや各講座時にアンケートを実施し、利用者の意見の把握に努めるなど、サービスの質の向上のための取り組みが適切になされている。</p>	28/28
V	施設固有の基準	<p>障害者一人ひとりのニーズに応じた相談支援や、就労移行支援事業所等への支援ノウハウ向上のための支援、各種支援機関による就労支援ネットワークの構築、障害者や支援機関と企業とを結ぶ各種機会の創設、就労した障害者の職場定着に関する支援など、各種の取り組みについて前向きかつ適切に行われている。</p> <p>H30年度に設置した就労移行支援事業所等連絡会議内のワーキンググループは、参加者の支援スキル向上のほか、関係機関との連携や情報交換の場としても機能しており、継続して効果が発揮されている。</p>	18/17

三 評価総括

《指定管理者（仙台市障害者福祉協会）による自己評価》	
<p>施設は指定管理に伴う設備・備品の維持管理及び施設が設置されている泉区役所庁舎設備の維持管理を適切に遂行しました。利用者アンケートは回収箱の設置箇所を増設し利用者が意見や要望しやすい環境を整えた他、施設利用説明会時にアンケートを行いました。意見や要望が出た際は速やかに対応したことで高い満足度を得られました。</p> <p>施設は障害者や企業、支援機関等に対する総合相談窓口として就労や雇用、支援に関する相談に応じました。</p> <p>障害者に対しては769名の就労相談に応じ、一人ひとりの状況、課題、ニーズに応じた支援を行い81名の一般就労を実現しました。就労後に生じた環境の変化や職場での不適応の予兆を早期に察知し解決に向けた支援を行うため、過年度就職者も含めた138名（前年度比約21%増）に対し558回（前年度比約51%増）企業訪問を行った結果、本年度就職者の年度末定着率95%を達成しました。</p> <p>企業に対しては法定雇用率引き上げに伴い、採用者が増加した一方で雇用管理等の課題が生じたことから、17社延べ22回経営者や従業員441名に障害理解を深める勉強会を行った他、企業同士の意見交換会、模擬面接の協力等を行い、障害者雇用の促進を図りました。</p> <p>就労移行支援事業所に対しては支援者個々の支援力強化を目的に28事業所延べ364回訪問同行し利用者の支援を一緒に行った結果、226名（前年度比約31%増）が一般就労に繋がり、仙台市障害者保健福祉計画の数値目標達成に寄与しました。</p> <p>仙台市における障害者の就労支援の中核として、支援者を対象とした連絡会議を開催し支援の手法等を共有しながら支援者同士の繋がりを強化しました。また人材育成・定着支援・医療連携ワーキンググループを前年度から継続し、就労支援機関や労働機関に加え医療機関、企業の参加を実現する等就労支援の課題解決に向けて、取り組みを発展させることができました。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営については、企業及び支援機関への訪問や企業向け勉強会等、多くの取り組みにおいて平成29年度の実施回数を上回る積極的な取り組みが認められる。</p> <p>特に、職場定着支援に対するニーズの高まりに対応して、過年度就職者に対する企業訪問の回数を大きく増やすなど、臨機応変な対応によって、年度末定着率は昨年度を上回る結果を残している。</p> <p>その他、アンケートを実施し寄せられた意見を職員間で共有していることや、職員研修の実施、短時間勤務を導入する等の職場環境整備等、当該センターのサービスの質向上への取り組みも継続して実施されている。</p> <p>就労移行支援事業所等連絡会議に設置した各ワーキンググループは、参加者の支援スキル向上に繋がっているだけでなく、関係機関との連携や情報交換の場としても機能しており、本市における全体的な支援力向上に寄与している。その結果として、就労移行支援事業所からの一般就労者も前年度を上回る実績を残している。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害企画課